

「滋賀」の県外発信の展開方策について

- “滋賀にはいいものがたくさんある”ことを強みとするため、食やモノをはじめとする滋賀の魅力を県外に向けて発信する方策等が課題
- 特に首都圏は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、人、モノ、が集中し、情報の受発信場所としての重要性が増すことから、滋賀らしさをシェアする窓口、各地に発信する起点として位置づけ

1. 新拠点の物件検討、一部機能の先行展開（H27）

(1) 物件の継続調査

- 近江商人ゆかりの日本橋エリアでの物件継続調査
- 情報発信、案内、販売等複数の機能を想定した物件の検討

(2) 食を中心とした「販売機能」の先行展開

- 首都圏で、“滋賀にはいいものがたくさんある”ことを実証
- コンビニと連携した県産品の販売やマルシェの実施等についても検討

〔先行展開概要〕

場所 「ちゃばら -CHABARA AKI-OKA MARCHE-」

- 「日本各地の食文化の情報発信基地」をコンセプトに、(株)ジェイアール東日本都市開発が平成25年7月にオープンした商業施設（来訪者数は平日約1,000人、休日約2,500人）
- 「ちゃばら」の中核テナントである「日本百貨店」において展開

規模 「日本百貨店」の店舗180坪（約594m²）のうち、約15坪（約50m²）

内容 加工品や酒類などの食および食器等、県産品の販売・情報発信
 （商品点数約300点。年間売上約3,000万円（同施設内の他県の例を参考にした想定））

経費 年間使用料 約900万円（ただし、H27年度は約680万円（9か月分））
 他に、初期投資として、保証金、備品什器等 約1,740万円

(3) 首都圏等での情報発信

- 産学官連携 「滋賀・びわ湖ブランドネットワーク」と連携し、首都圏で食や伝統工芸品等の展示販売を実施
- 庁内連携 「滋賀県ブランド推進本部」関係課のイベントを通じて、多様な側面から滋賀を発信（裏面参照）
- 企業連携 包括連携協定締結企業等との間で連携イベントを実施
 （JR大阪駅「天空の農園」田植イベント：5月、多賀サービスエリア「名神高速道路全面開通50周年記念イベント」での滋賀県PRブース出展：7月）
- 「ゆめぷらざ」の活用 人的ネットワークの利活用による首都圏発信（コクヨハク等）

2. 新拠点の整備・開設（H28年度中目途）、首都圏での情報発信の継続

〔首都圏イベント等〕

2k540シルバーウィークイベント〔570千円〕（モノづくり振興課） **【9月】**

- 県中小企業団体中央会と連携し、シルバーウィーク（9/19～9/23）に、江戸の伝統工芸職人の街、御徒町にある「2k540」で、滋賀のモノづくりの出展イベントを実施

滋賀の食材大都市で魅力発信事業〔3,000千円〕（食のブランド推進課） **【12月or1月】**

- 近江米、近江牛、湖魚、野菜など滋賀の食材を使った特別メニューを飲食店で一定期間提供する「インスタプロモーション」を通じた「滋賀の食」の魅力PR、滋賀食材の継続使用の働きかけ

戦国の近江魅力発信事業〔4,960千円〕（文化財保護課） **【1月】**

- 滋賀県が誇る歴史遺産を国内外の多くの方に知っていただくため、安土城と彦根城、甲賀武士と忍者をテーマにした講座（江戸東京博物館で予定）の開催や「戦国の近江の城めぐり」と題した番組を制作

早稲田大学自治体提携講座〔750千円〕（企画調整課） **【1月～2月】**

- 首都圏で「滋賀・びわ湖ブランド」の浸透を図るため、早稲田大学と提携し、「滋賀の文化」などを切り口に、滋賀の魅力を伝える5回程度の連続講座を開催（1～3月）

ココクール マザーレイク・セレクション首都圏発信事業〔2,581千円〕（商工政策課） **【未定】**

- 滋賀のすぐれた商品やサービスを選定している「ココクール マザーレイク・セレクション」を国内外の流通関係者に発信

在京出身者ネットワークの構築、県ゆかり企業との連携〔986千円〕（東京事務所） **【随時】**

- 首都圏在住の県出身者のふるさと滋賀への貢献、恩返しや応援団づくりの働きかけと、近江商人ゆかりの企業や滋賀に工場等を有する企業向けに滋賀の魅力を発信するセミナーや物産展を開催

滋賀の戦略的県外PR事業〔15,000千円〕（広報課） **【随時】**

- 新聞、テレビ等の最適なマスメディア戦略を立て、コンテンツに応じた効果的なメディアリリース、ヒット率をアップするためのメディアコンタクト、メディアを本県に招待するプレスツアーによる取材活動支援を実施

〔企業連携等による最近の主なメディア掲載例〕

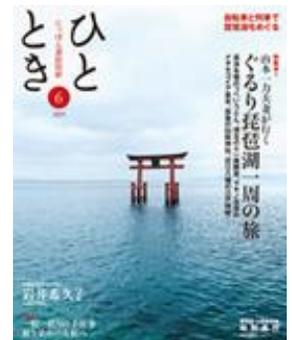


JAL JAPAN PROJECT
H27.3

一番搾り 醸造家と嵐さん、滋賀だわ篇



麒麟一番搾り滋賀づくり
H27.5



「ひととき」（東海道・山陽
新幹線グリーン車搭載誌）
H27.6

先行展開場所

「ちゃばら -CHABARA AKI-OKA MARCHE-」

(千代田区神田練塀町8-2 JR秋葉原駅徒歩1分 JR高架下)



※「ちゃばら」の名称は、この地が、かつての神田青果市場跡であることから、青果市場の通称、「やっちゃば」と「秋葉原」に由来

「日本百貨店」

- 日本のみならず、世界から人が集まる秋葉原で、作り手と消費者の出会いの場をコンセプトに、全国各地のこだわりの逸品を見せる、売る、という発想で運営
- 店内には、静岡、徳島、岐阜、岡山、北海道のアンテナコーナーをはじめ、各地の産品が集まり、主に週末を中心に生産者が集い、マルシェやワークショップを開催



「ちゃばら」位置図

